

茨城ビルメンニュース

一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会



「真壁のひなまつり」 フォトライブラリ観光いばらき公式HPより

技の継承 人の躍動 50年の歩みを力に

Contents

- | | | | |
|----|-----------------------------------|----|-----------------------------------|
| 2 | 令和7年度 清掃作業従事者研修指導者講習会
(新規・再講習) | 12 | 令和7年度ビルクリーニング技能検定
(1級) 受検準備講習会 |
| 3 | 令和7年度 技術者研修会 | 13 | 令和7年度 高齢者活躍人材確保育成事業
(清掃スタッフ講習) |
| 4 | 令和7年度 労働安全衛生大会 | 14 | 令和8年 新春賀詞交歓会 |
| 7 | 令和7年度 ポリッシャー実技講習会 | 17 | 令和8年度 主要事業・行事等の開催予定 |
| 8 | 令和7年度 会員相互のコミュニケーション
促進事業 | 17 | 会員告知板 |
| | 第4回会員対抗ボウリング大会 | 17 | 理事会だより |
| 9 | 第47回いばらきBMゴルフ大会 | 18 | 各委員会だより |
| 9 | 茨城労働局からのお知らせ | 20 | 私の楽しみ (はなしのリレー) |
| 10 | 協会創立50周年記念式典 | 21 | 編集後記 |

令和7年度 清掃作業従事者研修 指導者講習会（新規・再講習）



水島委員長あいさつ

8月29日（金）、県総合福祉会館4階中研修室において、「令和7年度清掃作業従事者研修指導者講習会（新規・再講習）」を開催しました。受講者数は、新規9名、再講習26名の計35名でした。

当日のカリキュラムは、下記のとおりです。

講習では、各科目とも、担当の協会講師が最新の情報を取り入れながら、実務に即した内容とすることを心がけました。（公社）全国ビルメンテナンス



協会発行の「清掃作業従事者研修指導教本」をはじめ、労働災害対策DVD、講師自らが作成した資料等を用い、分かりやすい講義が行われました。

建築物衛生法では、昨年度に続き、茨城県保健医療部生活衛生課 主事 市毛様から、建築物衛生法の概要、特定建築物、事業の登録に関する件などについてご講義いただきました。

最新の情報提供では、賛助会員のアイリスオーヤマ㈱の神田様、紺野様から、「人手不足時代に求められるサービスロボット活用」と題し、人手不足の現状やロボット導入による効果、ロボット導入のリスクと注意点などについて、資料等を用いて分かりやすく説明いただきました。

ご高承のとおり、この指導者講習会の目的は、登録事業者が自ら行う従事者研修の指導者を養成し、企業内研修の体制を整え、人材育成が一層促進されることにあります。受講者の皆様方には、本講習を自社での従事者研修にご活用いただければ幸いです。

○ カリキュラム ○

（司会：建物衛生委員会 金親副委員長）

講習科目	講師
開 会	
あいさつ	建物衛生委員会 水島委員長
建築物衛生法	茨城県保健医療部生活衛生課 主事 市毛 様
従事者研修指導のポイント	鈴木 協会講師・山形 協会講師
	昼 食 ・ 休 憩
作業管理	高橋 協会講師
安全と衛生	谷田部 協会講師
教育技法	水島 協会講師
最新の情報提供	賛助会員 アイリスオーヤマ㈱
認定証の交付	建物衛生委員会 水島委員長
閉 会	



令和7年度 技術者研修会

9月25日(木)、中央ビル(水戸市泉町)8階会議室を会場に、16社34名のご参加をいただき、「令和7年度技術者研修会」を開催しました。

今回は、設備や施設の保全に際し直面するアスベストへの適切な対応や対策をテーマに、茨城労働局労働基準部健康安全課のご担当職員と労働安全衛生コンサルタントの方を講師としてお招きし、講演をしていただくとともに、2年前にオープンした水戸市民会館の施設見学会を実施いたしました。



講師：茨城労働局 飯塚様

講演では、まず、茨城労働局労働基準部健康安全課衛生専門官 飯塚 則裕 様から、「アスベストに係る関係法令の改正の概要等について」との演題で、特に古いビル管理において直面するアスベストに関する関係法令の改正概要などについてご説明いただきました。具体的には、これまでのアスベストに関する法令規制の推移や、延床面積80㎡以上の建築物の解体及び100万円以上の建築物の改修工事などを行う場合には、アスベスト含有に係る事前調査の必要性や調査方法、またその他の化学物質規制のSDS(安全データシート)等による伝達義務化などの内容や床洗浄・トイレ洗浄・シンク洗浄等の際の化学物質の取扱いなどについて分かりやすくお話いただきました。



水戸市民会館の視察



講師：労働安全衛生コンサルタント 石川様

続いて、労働安全衛生コンサルタントの石川 恒男様から、「アスベスト含有の現状とその保全対策について」という演題で、実際に現場での調査経験等を踏まえて、アスベストが使用されている建築部材の現状や除去する方法や留意点を多くの写真等でご説明いただきました。

その後、隣接する水戸市民会館に移動して、同館を管理する 茨城グローブシップ(株) 水戸市民会館施設維持管理責任者の北島 勉 様から、水戸市民会館の設備等を中心に詳細なご説明をいただきながら視察し、最新の設備等の現状やその取扱いについて学ぶことができました。

茨城グローブシップ(株)様には、業務ご多用のところ、当研修会へのご協力誠にありがとうございました。



令和7年度 労働安全衛生大会



10月8日(水)、県総合福祉会館1階コミュニティホールを会場に、31社62名のご参加をいただき、「令和7年度労働安全衛生大会」を開催しました。

大会は、椎名副委員長の司会により、石田副会長の開会のことばで始まり、主催者を代表して川上会長があいさつ、次にご来賓の茨城労働局労働基準部長 江口 勇次 様から、県内のビルメンテナンス業の労働災害は、60歳以上の高齢者の割合が全業種3割に対し6割を占めること、令和8年4月から高齢者の労働災害防止対策「エイジフレンドリーガイドライン」による取組が法律上の努力義務となること、茨城県最低賃金の改正などについてご説明をいただきました。

続いて、「熱中症対策の強化について」という演題で、茨城労働局労働基準部健康安全課課長補佐 深津直哉 様からご講演をいただきました。

深津様からは、熱中症による労働災害の発生状況や、月別発生件数は猛暑となる7月20日以降に死傷者数が増加し、暑熱順化(早く暑さに慣れること)が重要であること、熱中症対策として、ウェアラブル端末による見える化や、ドリンクサーバー・製氷機の設置などの取組事例を解説していただきました。



講師：茨城労働局 深津様

また、令和7年6月から法令改正により熱中症対策が強化され、事業者に対し「早期発見のための体制整備」、「重篤化を防止するための措置の実施手順作成」、「関係作業員への通知」が義務付けられたことなどについてご説明いただきました。

小休憩後、事例発表に移り、はじめに「ビルメン中小企業によるノーコードDXの取組・定着方法」というテーマで、(株)裕生 根本 将 様から、「プログラミングを必要としない「ノーコードDX」等を活用した、従業員の検温をはじめとする日々の健康管理やメンタルヘルス対策への取組みなどについて、分かりやすく発表していただきました。

次に、「当社の労働安全衛生活動について」というテーマで、関東ビルサービス(株) 古市 茂樹 様から、毎年「安全衛生管理活動計画表」を策定し、安全衛生基本方針に基づいた年間目標やスローガンを掲げ、計画的に実行していることや、今後の作業環境の改善を図るための取組みについて発表がされました。



事例発表：(株)裕生 根本様 事例発表：関東ビルサービス(株) 古市様



大会の締めくくりは、満場一致で採択された大会宣言を、佐々木委員長の先導により出席者全員で唱和し、労働安全衛生対策に取り組む決意を新たにしました。最後に、大野副会長の閉会のことばで、大会を閉会としました。

大会宣言

「私たちは、ワークライフバランスに意識を向け、安全・安心に働ける柔軟な職場環境を目指して、予防対策を徹底し、ゼロ災害を達成することを、ここに宣言いたします。」



大会宣言の唱和



会長あいさつ

(一社)茨城県ビルメンテナンス協会
会長 川上 英則

皆様、こんにちは、ただ今、ご紹介をいただきました川上でございます。

本日は、大変お忙しいところ、「令和7年度労働安全衛生大会」にご出席をいただきまして、心から感謝申し上げます。

また、本日は、ご来賓としまして、ご多忙の中、茨城労働局 労働基準部 江口 勇次 部長様にご臨席を賜り、重ねて深く感謝申し上げる次第でございます。

さて、先般、今年の本県の最低賃金が発表され、引き上げ額は過去最高の69円で、1,074円となり、10月12日から適用されることとなりました。エネルギー価格をはじめとする物価高騰やこれらの賃金上昇、本格的な人口減少社会の到来による人手不足など、価格転嫁の難しい我々業界にとりまして、大変厳しい経営環境が続いております。

こうした厳しい環境ではありますが、エッセンシャルワーカーとして、業界の未来を担う若者が誇りを持って従事できるよう、労働生産性の向上や、価格転嫁等適正価格の実現に努め、適正な利潤を確保することができる業界へと発展させていかなければならないと考えております。

また、我々業界は、他業種に比べ、人の労働力に頼ることが多い、典型的な労働集約型の産業であり、業界発展のためには、業務を支える従事者の安全確保や、健康の維持を図る労働安全衛生が、各企業が最優先で取り組むべき大変重要な課題であります。

温室効果ガスの増加などに起因する地球温暖化により、今年の夏も、昨年と同様、平均気温の基準値を大きく上回る危険な暑さとなり、さらに9月に入っても真夏日が続くなど、今後も、この傾向は続くものと考えられております。

そのような状況を踏まえ、「熱中症対策」は、今年6月から法令が改正されてさらに強化されており、我々協会の会員も、大変厳しい環境下で、業務に精励している社員の安全を守るため、真摯に取り組まなければならない重要な課題となっております。

こうしたことから、今回の講演では、昨年につき、業務従事者などの健康を維持していくために、労働安全衛生対策として、「熱中症対策」の強化がどのような内容で、今後、我々はどう対処していけばいいのか、をテーマとしております。

講師に、茨城労働局労働基準部 健康安全課 深津 課長補佐様をお迎えし、「熱中症対策の強化について」という演題で、県内の熱中症による労働災害の状況や、熱中症対策強化の内容、職場の熱中症予防対策などについて、ご講演していただきます。

今後、危険な暑さが当たり前となる環境の中で、労務担当の皆様方には、ご講演を参考に、従事者が安全・安心に働くことができるよう、職場環境の整備に、一層のご尽力をお願い申し上げます。

講演に続きまして、会員企業による「事例発表」では、(株)裕生から、「ビルメン中小企業によるノーコードDXの取組・定着方法」をテーマに、DXを活用した労働安全衛生への具体的な取組み内容を、続いて、関東ビルサービス(株)から「当社の労働安全衛生活動について」をテーマに、労働安全衛生活動の管理計画や熱中症対策に関する取り組みをお話ししていただくこととしております。

ご出席の皆様方におかれましては、茨城労働局の深津様のご講演、そして事例発表の具体的な取り組みから、参考となるヒントを数多く汲み取っていただき、今後の業務運営に活用されますことを期待しております。

結びに、この大会が、皆様方の労働安全衛生活動の更なる向上の契機となりますこと、そして、ご出席の会員企業のますますのご発展とご参会の皆様のご健勝をお祈り申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。本日は、最後まで、よろしく願いいたします。



ご来賓あいさつ

茨城労働局 労働基準部
部長 江口 勇次 様

茨城労働局労働基準部長の江口でございます。

本日は、一般社団法人茨城県ビルメンテナンス協会の令和7年度労働安全衛生大会が、このように盛大に開催されましたことを、心からお祝い申し上げます。

また、川上会長をはじめ、各会員の皆様方におかれましては、日頃から労働災害防止、労働者の健康確保について、格別のご理解とご協力を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

本日は後ほど当局の深津から熱中症対策について説明させていただきますが、私の方から労働災害発生状況等について簡単に説明させていただきます。

【茨城県下の労働災害の状況及び対策】

令和6年の茨城県内の労働災害については、新型コロナウイルス感染症によるものを除いて、休業4日以上死傷者数が3,221人と対前年比で34人の減少となっております。このうち22人の尊い命が失われており、令和5年と比べて1人少なくなっております。

令和7年につきましては、本日までに、14人の尊い命が失われており、昨年と比べると7人少なくなっております。

次に、ビルメンテナンス業においては、ここ10年、死亡災害ゼロの状態が続いております。また、休業4日以上死傷者数は、令和6年43人と、前年の47人と比べ、4人減少しております。

なお、令和6年の災害を年齢別にみると、60歳以上の高年齢者の割合は、全業種において3割であるのに対して、ビルメンテナンス業においては6割となっており、ビルメンテナンス業における被災者の高年齢化が進んでいることがわかるかと思えます。これまで、高年齢労働者の労働災害防止対策については、エイジフレンドリーガイドラインによる取組をお願いしてい

たところ、本年の通常国会で成立しました改正労働安全衛生法において、来年・令和8年4月1日から法律上の努力義務となります。今後、指針等も定められる予定となっており、労働局・各労働基準監督署においても周知を図ってまいりますので、皆様におかれましても取組をお願いいたします。なお、改正労働安全衛生法では、職場のメンタルヘルス対策の推進として、3年以内に50人未満の事業場においてもストレスチェックが義務付けられることなども盛り込まれております。こちらも今後周知を図ってまいりますので、ご承知おきいただければと思います。

話を戻しまして、ビルメンテナンス業の労働災害について、どのような事故が多いかということで、「事故の型」別で見ると、「転倒災害」が一番多く全体の半数以上（55.8%）を占めています。続いて「墜落・転落」（16.3%）、「動作の反動・無理な動作」（腰痛など、11.6%）となっております。これらの行動災害には体操などが有効とされているところ、茨城労働局HPに、3分半でできる健康体操の動画が掲載されておりますので、ぜひご活用ください。

また、近年、化学物質による災害が多い業種は、多い順に、食料品製造業、化学工業、清掃業となっております。労働災害の起因物としては、洗剤・洗浄剤によるものが特に多くなっておりますので、化学物質管理者の選任、不浸透性の保護具の使用等を含め、化学物質対策についても対応いただきますようお願いいたします。

【茨城県最低賃金の改正】

最後に、1点、最低賃金の改正についてですが、本年10月12日から69円アップし、時間給1,074円となります。近年大幅な引上げが続いているところ、賃金引上げに関しましては、業務改善助成金をはじめとして各種支援策もありますので、活用いただき、最低賃金額以上の賃金支払いをよろしくお願いいたします。

結びになりますが、一般社団法人茨城県ビルメンテナンス協会並びに会員事業場の益々のご発展と、本日ご参加の皆様のご健勝とご多幸、さらには無事故・無災害を心から祈念申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。

本日は、おめでとうございます。

令和7年度 ポリッシャー実技講習会



水島委員長あいさつ

10月4日(土)、県総合福祉会館5階協会会議室・共用フロアを会場に、ポリッシャー操作未経験及び未熟な方を対象とした「ポリッシャー実技講習会」を開催し、5社6名(非会員含む)の受講者にご参加いただきました。

清掃のプロである清掃作業監督者となるためには、1級ビルクリーニング技能士の国家資格取得が要件の一つであり、その資格取得には、ポリッシャーの操作技術の習得が必須です。

しかし、ポリッシャーは定期清掃等以外での使用が少なく、社内で、ポリッシャー操作を学ぶOJTの機会もなかなか作れない状況にあることから、ポリッシャーの操作技術の基本を習得していただくことを目的に、昨年度から本講習会を開催しております。

講習会は、受講者を2班に分け、できるだけ多くポリッシャーに触れていただき慣れてもらいました。

<ポリッシャー実技講習会の概要>

- 1 日時 令和7年10月4日(土)9:30~16:00
- 2 会場 県総合福祉会館5階 協会会議室・共用フロア
- 3 出席者 5社6名
- 4 研修
(1) ポリッシャーの機能と構造、使い方等について
(ビデオ視聴)
(2) 実技講習 講師：谷田部・横井 協会講師
- 5 修了書の交付



ビデオ視聴

受講者のほとんどの方は、ポリッシャー操作に携わる機会が少なく、実習の開始段階では、協会講師の模範演技の後、お互いに他の受講者の操作状況を真剣に観察しながら、こわごわと取り組んでいました。午後の部になると、それぞれ緊張も和らいで、操作にも慣れ、少しずつ円滑なコード裁きや移動ができるようになりました。

指導した協会講師からは、1日の実習で目を見張る進歩がみられ、今後も機会を得てより多くの実習経験を積むことが重要との講評があり、この講習を契機に、更なる経験を積み資格取得に結びついていくことを願っております。

来年度も、講習内容をさらに充実させて、本講習会を開催したいと考えており、多くの方のご参加をお待ちしております。



令和7年度 会員相互のコミュニケーション促進事業 (レクリエーション) 第4回会員対抗ボウリング大会



9月10日(水)、「第4回会員対抗ボウリング大会」を大学ボウル 土浦本店において開催しました。

大会は、1チーム3名、2ゲームの総得点数を競う会社対抗とし、8社8チーム24名にご参加いただき、うち女性参加者は5名、女性には、ハンデとして2ゲームの合計点に30点を加算しました。

川上会長のあいさつ、ルール説明、練習ボウルによるウォーミングアップ、続いて、川上会長の始球式後、各レーンで競技が開始されました。

あちらこちらでストライクやスペアへの歓声や、ハイタッチを交わすなど盛り上がりを見せ、参加者の皆さんは、終始、笑顔で和やかにゲームを楽しまれ、親睦を深められていました。

ゲーム終了後は、パーティールームにおいて、表彰式を行いました。川上会長からブービー賞、第三位、準優勝、優勝と順位賞の豪華賞品が代表者に手渡され、惜しくも順位賞に該当しなかったチームには参加賞が授与されました。

最多得点288点を出した(株)全日茨城の長妻 弘通さんには、協会長賞が授与されました。

優勝した「オールデイズ」(株)全日茨城)チームは、協会長賞を獲得した長妻 弘通さん、小林 真実さん、村上 純一さんが3人とも上位の好成績を上げ、見事優勝の栄誉を獲得しました。

今回は、第5回大会を水戸で開催する予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



協会長賞：長妻さん



優勝：オールデイズ



準優勝：あかつき



第3位：ニューバース



ブービー：ゆみちゃんズ

<第4回会員対抗ボウリング大会成績>

- 優勝 (797点) オールデイズ(長妻 弘通、小林 真実、村上 純一) …………… (株)全日茨城
- 準優勝 (703点) あかつき(小野瀬 一廣、張替 晃、浅井 祥子) …………… (株)暁恒産
- 第3位 (685点) ニューバース(斎藤 広行、館 由紀夫、武内 雄介) …………… 新生ビルテクノ(株)
- ブービー (632点) ゆみちゃんズ(川井 努、植田 由美子、増田 智則) …………… 常陸興業(株)
- 協会長賞 (ベストスコア賞) 長妻 弘通 …………… (株)全日茨城

第47回いばらきBMゴルフ大会

会員相互のコミュニケーション促進事業「第47回いばらきBMゴルフ大会」を、静ヒルズカントリークラブで開催しました。

当日は、曇り空でやや肌寒い陽気でしたが、時より射す太陽の光で心地よく、また風も穏やかな天候の中、アウトスタート4組、インスタート6組、初参加者6名を含め、近年では最多の総勢38名の方々にご参加いただきました。

グリーン手前の壁のような高いバンカー等に苦戦しながらも、参加者の皆様には、管理の行き届いたコースを堪能し、最高の気分プレーを楽しんでいただけたものと思います。

次回も多数のご参加をお待ちしております。

期 日：11月18日(火)

会 場：静ヒルズカントリークラブ

常陸大宮市小場5766

参加者：10組38名

結 果：優 勝 江幡 和宏氏

(株)日立ビルシステム)

準優勝 平 勝美氏

(太平ビルサービス(株))

第3位 大曾根 弘之氏

(国際ビルサービス(株))



優勝：(株)日立ビルシステム 江幡氏

茨城労働局からのお知らせ

最低賃金が、変わりました。

茨城県 最低賃金
令和7年
10月12日から

1,074 円 時間額

前年比
69円
UP!!

雇う上でも、働く上でも、最低限のルール。
働く人も、雇う人も、必ず確認、最低賃金。

最低賃金に関する特設サイト
<https://saiteichingin.mhlw.go.jp/>

WEBで確認!

最低賃金制度

検索

最低賃金に関するお問い合わせは
茨城労働局または最寄りの労働基準監督署へ
茨城労働局ホームページアドレス

<https://jsite.mhlw.go.jp/ibaraki-roudoukyoku/>

協会創立50周年記念式典



記念式典 川上会長あいさつ

昭和50年1月に設立された一般社団法人茨城県ビルメンテナンス協会は、昭和100年の節目の年となる令和7年に創立50周年を迎え、その記念式典並びに祝賀会行事が、10月29日(水)午後2時から「ホテルレイクビュー水戸」において、各方面のご来賓と会員63社の代表者等を合わせて110余名が参加し、盛大かつ華やかに開催されました。

晴天に恵まれた当日は、第一部：記念講演、第二部として多くのご来賓に出席いただいた記念式典、そして第三部：祝賀会という三部構成で、協会創立50周年に相応しい行事が盛大に執り行われました。

記念講演は、日本銀行水戸事務所所長 稲見 征史様を講師にお迎えして、「トランプ関税と日本・茨城の経済動向」との演題でご講演いただきました。

講演では、日米関税交渉の合意状況や米国の関税政策が日本経済に与える影響、今後の世界経済の見通し、さらには関税政策実施後の世界の輸出入の動向、国内の企業収益と設備投資の動向などを詳細なデータを用いてわかりやすく説明いただくとともに、今後のわが業界の経営上の注視すべき点についても多角的に提言いただくなど、大変示唆に富んだご講演をしていただきました。

記念式典は、石田副会長の開会のことばで始まり、川上会長が挨拶し、協会の歩みを振り返りながら、これまでご支援・ご協力をいただいた関係機関・団体並びに会員の皆様方への御礼や、次の50年においても会員一同が連携して協会・業界の発展に向けて精進していくことを力強く述べました。



記念講演会



茨城県知事感謝状の授与



記念祝賀会

次に、茨城県副知事 飯塚 博之 様をはじめ、5名の方々からのご来賓祝辞では、これまで協会が果たしてきた役割を評価いただくとともに、さらなる発展への期待が寄せられました。

次に表彰が行われ、一般社団法人茨城県ビルメンテナンス協会に対しての茨城県知事感謝状が、茨城県 飯塚 副知事 様より川上会長に手渡されました。続いて、協会表彰として、特別功労賞が、16年にわたり会長として協会発展にご尽力いただいた大山進 相談役と、20年以上にわたり業務・会計の監査をしていただいている鈴木 修 監事に授与されました。さらに、長年、協会の役員、講師、副委員長として活躍された方々等に贈る功労賞が、個人7名、会社13社に、また長年、協会発展を支えてきた事務局職員1名に協会長感謝状が授与されました。

記念祝賀会は、川上会長の御礼を含めての挨拶に続き、水戸市長 高橋 靖 様のご祝辞の後、(一社)茨城県警備業協会長の鴨志田 聡 様の音頭で乾杯し、会場は一層華やいだ雰囲気になりました。会場では、これまでの歩み・業界の未来を語り合う光景や、新たな交流の場に話が弾むなど、随所で賑わいが見られました。

また、懇親の途中には、本県出身の樋口 景山 様をリーダーとする尺八・箏・三味線・民謡で構成する邦楽四重奏により、多くの方になじみ深い曲の演奏が流れると、会場は一段と和やかな雰囲気に包まれ、50周年を彩る楽しい祝賀会となりました。



式典運営の役員・スタッフ

令和7年度ビルクリーニング技能検定 (1級)受検準備講習会



11月12日(水)・13日(木)の2日間、中央ビル6階会議室において、「令和7年度ビルクリーニング技能検定(1級)受検準備講習会」を開催しました。

本講習会は、当協会の人材育成事業の一環として、「1級ビルクリーニング技能士」の資格取得を後押しするため、2日間の日程で開催しているもので、受講者は、各担当講師の熱心な指導の下、各課題の実技作業に、汗を流しながら、次から次へと懸命に取り組んでいました。

1日目は、作業工程や動作の基本を十分把握しきれておらず、各講師から随時指導を受け、作業時間も長かかっていましたが、実習を何度も繰り返し真剣に臨んだ結果、2日目は、各作業工程をそれぞれに習得し、動作もスムーズになり、作業時間も大幅に短縮していました。

本試験においては、受講者全員が合格されることを願っております。

<開催概要>

- 1 期 日：令和7年11月12日(水)・13日(木) 2日間
- 2 会 場：中央ビル6階会議室
- 3 受 講 者：1日目・2日目とも 6社6名
- 4 講習科目 ビルクリーニング技能検定(1級)実技作業
課題1：弾性床表面洗浄作業
課題2：繊維系床部分洗浄作業
課題3：壁面洗浄作業
- 5 指導体制 大曾根・高橋・横井・山形・鈴木各協会講師
アドバイザー：谷田部協会講師



課題1：弾性床表面洗浄作業



課題2：繊維系床部分洗浄作業



課題3：壁面洗浄作業

令和7年度 高齢者活躍人材確保育成事業 (清掃スタッフ講習)

本事業は、当協会が、毎年度、(公社)茨城県シルバー人材センター連合会から委託を受け、実施しているものです。

その目的は、高齢者の多様な就業ニーズに応じ、地域社会の日常生活に密着した就業機会を確保・提供し、併せて高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進による地域社会の活性化を図ることです。

令和7年度におきましても、1会場当り2日間の日程の中で、受講者に基礎的な清掃技能を習得していただくため、当協会のベテラン講師が懇切丁寧な指導を行い、講習後のアンケートでは、「清掃に関する知識が豊富な良い講師に教えていただきよかった」、「清掃業務は奥が深い内容であり、ポリッシャー、ワックス掛け等も再度基本を学びたい」、「今まで自己流で清掃していたので基本を教えていただき、今後実践していきたい」、「清掃は、社会生活に欠かせない重要な仕事で奉仕心が大切であり、また勉強の機会をいただきたい」等々、多くの受講者から高く評価していただきました。

<実施概要>

- 1 開催の主体：(公社)茨城県シルバー人材センター連合会
- 2 対象者：満60歳以上でシルバーの会員になり就業できる方
現在シルバー会員で未就業の方
現在シルバー会員として就労しているが職種転換を希望する方
- 3 会場数：4会場
- 4 受講者数：延べ26名
- 5 講師：延べ8名 実数3名(塩谷・篠崎・鹿嶋各協会講師)
- 6 内容：作業従事者の心得、安全と衛生、清掃用具の使い方、トイレ・洗面台・窓ガラスの清掃、カーペットのシミ取りなど
- 7 開催会場及び日程等：下表のとおり



写真提供：(公社)茨城県シルバー人材センター連合会

市町村シルバー人材センター	実施日程	受講者数	担当講師	会場
筑西市	7月15日(火)	4	塩谷 文則 篠崎 嘉勝	筑西市シルバー人材センター
	16日(水)			
高萩市	7月29日(火)	7	塩谷 文則 鹿嶋 史子	リーベロたかはぎ
	30日(水)			
笠間市	9月2日(火)	7	塩谷 文則 篠崎 嘉勝	笠間市シルバー人材センター
	3日(水)			
行方市	10月2日(木)	8	篠崎 嘉勝 鹿嶋 史子	行方市環境美化センター
	3日(金)			
計 4会場	延べ 8日	延べ26名	延べ8名	

新春賀詞交歓会



「令和8年 新春賀詞交歓会」が、1月14日(水)午前11時から、ホテルレイクビュー水戸において、100余名の皆様にご出席いただき、盛大に開催されました。

はじめに、主催者を代表して当協会 川上会長が新年のあいさつを行い、労働生産性の向上とともに、価格転嫁に努め、適正な利潤を確保し、働く方々が誇りと魅力を感じられる業界としていくこと、また、社員の能力開発・人材育成を積極的に進め、会員企業が相互に連携して業界全体の信頼性を高めていくことが重要であり、それらの点を踏まえ、令和8年の協会の運営目標を「**技の継承 人の躍動 50年の歩みを力に**」とすることが表明されました。この目標は、「先人から受け継いだ『技』を未来へと継承し、一人ひとりの『人』が躍動する業界を築く。そして、50年の歩みを揺るぎない力とし、次代に選ばれ、社会に必要とされ続けるビルメンテナンス業の新たな価値創造に挑み続ける」という趣旨で、この目標を踏まえ、今後の協会運営に取り組んでいくと述べられました。

その後、和やかな雰囲気の中、ご来賓並びに会員の皆様方が新年のごあいさつや意見交換など、大変活発な交流が行われ、懇親を深めることができました。

新年早々のお忙しい時期にも関わらず、たくさんの皆様方にご出席をいただきまして、心より感謝申し上げますとともに、会員各社のますますのご発展をご祈念いたしまして、賀詞交歓会のご報告といたします。

次 第

	司会：増田理事
1 開会のことば	石田副会長
2 会長あいさつ	川上 会長
3 来賓ご祝辞	
茨城県知事	大井川和彦 様
自由民主党茨城県支部連合会 会長	海野 透 様
茨城労働局 労働基準部長	江口 勇次 様
4 来賓ご紹介	
5 鏡 開 き	
6 乾 杯	一般社団法人茨城県警備業協会 会長 鴨志田 聡 様
7 祝 宴	
8 中 締 め・閉会のことば	大野副会長



ご来賓名簿

茨城県知事	大井川和彦 様
自由民主党茨城県支部連合会	会 長 海野 透 様
茨城県 保健医療部	次長兼医療局長 小野 幸子 様
茨城県 保健医療部 生活衛生課	課 長 仁藤 健二 様
茨城労働局 労働基準部	部 長 江口 勇次 様
公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会	
公益社団法人 東京ビルメンテナンス協会	会 長 佐々木浩二 様
一般社団法人 茨城県警備業協会	会 長 鴨志田 聡 様
一般社団法人 茨城県ペストコントロール協会	会 長 岡村 太郎 様
一般社団法人 茨城県貯水槽維持管理協会	会 長 松岡 裕和 様
茨城県管工事業協同組合連合会	会 長 石田 賢司 様
公益社団法人茨城県シルバー人材センター連合会	常務理事兼事務局長 長山 優 様
公益財団法人茨城県生活衛生営業指導センター	専務理事 渡邊 真司 様

(順不同)





会長あいさつ

(一社)茨城県ビルメンテナンス協会
会長 川上 英則

改めまして、明けましておめでとうございます。
会員の皆様方には、新春をすこやかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、本日は、ご多忙中にもかかわらず、茨城県知事 大井川 和彦 様、自由民主党茨城県支部連合会 会長 茨城県議会議員 海野 透 様をはじめ、多くのご来賓のご臨席を賜り、心から感謝申し上げます。年の初めに、このように多くの皆様と顔を合わせ、新たな一年のスタートを切ることができますことは、大変心強く、そして身の引き締まる思いでございます。

さて、昨年を振り返りますと、各地で発生した地震被害や大規模な山林火災、そして記録的な猛暑など、自然災害の脅威を改めて実感する一年でありました。また、社会経済状況については、内閣府の月例経済報告によると「景気は、緩やかに回復している」とされておりますが、現場感覚としては、「回復を実感するには、もうひと踏ん張り必要だ」と感じておられる方も多いのではないかと思います。

このような社会情勢の中、当協会の事業が全て無事に実施できましたのは、ひとえに会員の皆様、そして関係機関の皆さまのお力添えのおかげでございます。特に、昨年3月には、県有施設の委託契約金額の見直しにつきましては、県の関係機関の皆様にご理解を賜り、物価高騰に対応した価格転嫁を進めることができました。これは、長年にわたり業界全体の大きな課題でありましたが、現場の実情を丁寧にお伝えし、ご理解をいただいた結果であり、大きな前進であったと受け止めております。この場をお借りしまして、大井川知事さんをはじめ、関係者の皆様に改めて厚く御礼申し上げます。

また、6月には「第51回通常総会」を開催し、新たな役員体制のもと、協会運営がスタートし、8月から11月にかけては、「清掃作業従事者研修指導者講習会」を皮切りに、「技術者研修会」、「労働安全衛生大会」、「ビルクリーニング技能検定受験準備講習会」など人材の育成・確保に資する事

業を数多く実施いたしました。「人がいなければ始まらない、技がなければ続かない」まさに、私たち業界の原点であり、ここに力を注ぐことこそが、将来への最大の投資であると考えております。

さらに、10月29日には、約120名の参加者を得て、今年度の一大事業である「協会創立50周年記念式典」を、皆様方のご尽力・ご支援により、無事に開催することができました。

50年という節目を迎えられましたのは、先人の皆様が積み重ねてこられた努力と、現役世代の皆様のご尽力の賜物でございます。この50年の歩みを、次の世代にしっかり引き継いでいくことが、今を生きる私たちの責任であると、改めて感じた次第であります。

さて、ビルメンテナンス業界を取り巻く経営環境は、物価や賃金の上昇とともに、急激な人口減少による人手不足の一層の深刻化など、大変厳しいものがございます。この厳しい経営環境を克服していくためには、DXなどによる労働生産性の向上とともに価格転嫁に努め、適正な利潤を確保して、働く方々が誇りと魅力を感じられる業界にしていかなければならないと考えます。

そのためには、お客様から高く評価していただけるよう、社員の能力開発・人材育成を積極的に進め、会員企業が相互に連携して、業界全体の信頼性を高めていくことが極めて重要と考えます。

それらの点を踏まえ、協会の令和8年の運営目標を、「**技の継承 人の躍動 50年の歩みを力に**」とします。この協会の目標、スローガンは、「先人から受け継いだ確かな『技』を未来へと継承し、一人ひとりの『人』が躍動する業界を築く。そして、50年の歩みを揺るぎない力とし、次代に選ばれ、社会に必要とされ続けるビルメンテナンス業の新たな価値創造に挑み続ける」という趣旨でございます。協会としましても、この目標を踏まえて、現場で働く方々の「エッセンシャルワーカー」としての人材育成はもとより、業界全体の発展と信頼性の向上に全力で取り組んでまいりますので、ご来賓及び関係機関、並びに会員企業の皆様方には、どうか今年もお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本日ご出席の皆様方にとりまして、本年が健康で実り多く、そして「良いご縁が広がる一年」となりますこと、併せて当協会並びに業界全体が着実な歩みを進める年となりますことをお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしく願いいたします。



来賓ご祝辞

茨城県知事
大井川 和彦 様

本日は、一般社団法人茨城県ビルメンテナンス協会の賀詞交歓会が、盛大に開催されましたことを心からお慶び申し上げます。

川上会長をはじめ、皆様方には、日頃から、建築物や設備の適正な管理、保安警備など、利用者が安全で快適に過ごせる空間づくりにご尽力されておりますことに、深く敬意を表するとともに、昨年、貴協会が創立50周年を迎えられましたことに、お祝い申し上げます。

また、先月城里町で発生した、高病原性鳥インフルエンザの防疫作業にご協力いただいた皆様には、この場をお借りして感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、景気の緩やかな回復が続き、賃上げの動きが広がった一方、長引く物価高や人手不足が私たちの暮らしに大きな影響を与えた一年でした。

加速度的に進む人口減少をはじめ、気候変動による影響の拡大、人工知能の驚異的な進化など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。

私は知事就任以来、この激動の時代を見据え、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向けて、経済の活性化や安心安全な生活基盤の確保などに全力で取り組んできました。

その結果、2022年度の本県の一人当たり県民所得が3年連続で全国第3位となったほか、人口の「社会増加数」は近年全国上位で推移し、東京都や大阪府などの大都市圏に次ぐ「社会増」が定着しつつあるなど、本県の潜在能力の開花に繋がる変化が着実に芽生えてきております。

こうした中、皆様方におかれましては、高齢者や障害者の就労支援に取り組んでいるほか、清掃機器の実技研修会の開催や人工知能を活用した清掃ロボットに関する調査研究に取り組まれるなど、業界全体の人材の確保・育成や生産性の向上に積極的に取り組まれており、大変心強く感じております。

県といたしましては、環境が激変する時代にあっても本県をさらに飛躍させていくため、中小企業の生産性の更なる向上や適切な価格転嫁と賃上げの両立により経済が好循環する環境づくりを進めるほか、安心安全な生活基盤の確保などに全力で取り組んでまいります。

皆様方におかれましては、なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、一般社団法人茨城県ビルメンテナンス協会のますますのご発展と、本年が皆様方にとりまして、実り多き素晴らしい一年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。



来賓ご祝辞

茨城労働局 労働基準部
部長 江口 勇次 様

みなさま新年明けましておめでとうございます。ただいまご紹介に預かりました茨城労働局労働基準部長の江口でございます。本日は、茨城県ビルメンテナンス協会、令和8年賀詞交歓会にお招きいただきまして、ありがとうございます。

皆様におかれましては、日頃より私どもが推進しております労働条件確保改善及び労働災害防止のための取組にご協力いただいておりますことについて、この場を借りて感謝申し上げますとともに、本年度も引き続き労働局の取組にご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、県内の雇用情勢ですが、茨城県内の有効求人倍率は、昨年11月末時点で1.10倍となっており、基調判断としては、「求人が求職を上回って推移しているものの、一段と改善の動きが弱まっている。引き続き、物価上昇等が雇用に与える影響を注視していく必要がある」としています。労働局としては、関係団体等と連携しつつ適切に対応してまいりたいと考えております。

労働災害につきまして、令和7年における県内の労働災害発生状況は、12月末の速報値で、休業4日以上死傷者数は2,867人で前年比92人の減少、死亡者数は17人で前年比5人の減少と、それぞれ減少することができたところですが、より一層減らしていくためにも、引き続き労働災害防止対策を進める必要があります。

特に、熱中症対策について、昨年6月に改正労働安全衛生規則が施行され、熱中症の重篤化による死亡災害を防止するため、熱中症のおそれがある作業者を早期に発見し、その状況に応じ、迅速・適切に対処することが義務付けられたところ、皆様には対策に取り組んでいただいた結果として、昨年は熱中症による死亡災害は発生しませんでした。改めて感謝申し上げます。

なお、熱中症対策以外にも、多様な人材が安全に、安心して働き続ける職場環境の整備を推進するため、職場のメンタルヘルス対策の推進や高齢労働者の労働災害防止の推進等を内容とする改正労働安全衛生法等が昨年5月に成立し、本年1月1日から段階的に施行されることとなっています。本年も、労使一体となって労働災害防止・健康確保に取り組む、労働災害のない健康で明るい職場が形成されますようよろしくお願いいたします。

社会全体の構造変化、人手不足、労働者の高齢化など、業界を巡る状況としても厳しい面もあると思っておりますが、茨城労働局としましても、皆様方と一丸となって、安心、安全な労働環境の確保、実現に向けて取り組んでいければと考えております。引き続き、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、茨城県ビルメンテナンス協会の会員の皆様のご発展と、本日ご参集の皆様方のますますのご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

令和8年度 主要事業・行事の開催予定

(令和8年2月25日現在)

担当委員会	事業・行事名	開催日時	会場
	予備監査	5月11日(月) 15:00～	協会 会議室
	監査	5月14日(木) 10:30～	同上
	第3回理事会	5月20日(水) 15:00～	茨城県総合福祉会館 4階 中研修室
	第52回通常総会	6月16日(火) 13:30～	ホテルレイクビュー水戸 2階 飛天の間
	令和9年 新春賀詞交歓会	令和9年1月20日(水) 11:00～	ホテルレイクビュー水戸 2階 飛天・鳳凰の間
総務	第37回優良従業員表彰	6月16日(火) 13:30～	ホテルレイクビュー水戸 2階 飛天の間
	会員相互のコミュニケーション促進事業 BMゴルフ大会 レクリエーション	6月、11月 10月中・下旬	未定 未定
建物衛生	清掃作業従事者研修指導者講習会(新規・再講習)	7月30日(木) 9:00～	茨城県総合福祉会館 4階 中研修室
	ビルクリーニング技能検定(1級)受検準備講習会	11月下旬(2日間)	中央ビル(水戸市泉町) 会議室
	高齢者活躍人材確保育成事業(清掃スタッフ講習)	未定	未定
	ポリッシャー実技講習会	未定	未定
設備保全	技術者研修会	9月16日(水)	茨城県総合福祉会館 4階 中研修室
労働安全衛生	労働安全衛生大会	10月8日(木) 13:30～	茨城県総合福祉会館 1階コミュニティホール
広報	茨協ニュースの発行	8月1日、12月1日、令和9年3月1日	

※ 令和8年度の主要事業・行事については、3月26日(木)開催の「第2回理事会」にて正式に決定されます。



会員告知板

◇退会 (令和7年10月31日付)

(株)シービーエス (営業部)

理事会だより

臨時常任理事会

日時 8月7日(木) 15:00～16:30
場所 協会 会議室
出席者 川上会長、石田・大野副会長、塚越・増田・根本・佐々木・水島各常任理事
 事務局(小室専務理事、田山)
議事 (1)協会創立50周年記念事業について
 (2)その他



第2回常任理事会

日時 9月3日(水) 15:00～16:30
場所 協会 会議室
出席者 川上会長、石田・大野副会長、塚越・増田・根本・佐々木・水島各常任理事
 事務局(小室専務理事、田山)
議事 (1)令和7年度事業の進捗状況について
 (2)今後の事業計画について
 (3)協会創立50周年記念事業について
 (4)その他



第3回常任理事会

- 日時** 10月15日(水) 15:05～16:50
場所 協会 会議室
出席者 川上会長、石田・大野副会長、塚越・増田・佐々木・水島各常任理事
事務局(小室専務理事、田山)
議事 (1)協会創立50周年記念事業について(最終確認)
(2)忘年会の開催について
(3)令和8年 新春賀詞交歓会について
(4)その他



第4回常任理事会

- 日時** 12月4日(木) 16:55～17:45
場所 水戸 山口楼
出席者 川上会長、石田・大野副会長、塚越・増田・根本・佐々木・水島各常任理事
事務局(小室専務理事、田山)
議事 (1)新春賀詞交歓会の運営(案)について
(2)今後の主要行事について
(3)報告事項について
(4)その他

臨時常任理事会

- 日時** 11月20日(金) 10:00～10:30
オンライン会議
出席者 川上会長、石田・大野副会長、増田・根本・佐々木・水島各常任理事
事務局(小室専務理事、田山)
議事 (1)新春賀詞交歓会の会費について
(2)協会創立50周年記念誌について
(3)茨協ニュースの今後の発行について
(4)その他



各委員会だより

建物衛生委員会

◇ 第1回委員会

- 日時** 7月29日(火) 15:00～16:15
場所 協会 会議室
出席者 水島委員長、大曾根・金親副委員長、谷田部・高橋・横井・山形各委員
事務局(小室専務理事、田山)
議事 (1)清掃作業従事者研修指導者講習会(新規・再講習)の開催について
(2)ポリッシャー実技講習会の開催について
(3)今後の委員会事業について
(4)その他



◇ 第2回委員会

- 日時** 10月10日(金) 15:00～15:50
場所 協会 会議室
出席者 石田副会長、水島委員長、大曾根副委員長、谷田部・高橋・横井・山形・有坂各委員
事務局(小室専務理事、田山)
議事 (1)ビルクリーニング技能検定(1級)受検準備講習会の運営要項について
(2)ポリッシャー実技講習会の実施状況について
(3)その他



設備保全委員会

◇ 第1回委員会

日時 8月5日(火) 15:00～16:45

場所 協会 会議室

出席者 大野副会長、塚越委員長、藤島副委員長、
柏井・高田・菅原各委員
事務局(小室専務理事、田山)

議事 (1)令和7年度 技術者研修会の開催について
(2)その他



労働安全衛生委員会

◇ 第1回委員会

日時 8月22日(金) 15:00～16:25

場所 協会 会議室

出席者 大野副会長、佐々木委員長、椎名・沢田副委員長
事務局(小室専務理事、田山)

議事 (1)令和7年度 労働安全衛生大会の開催について
(2)その他



広報委員会

◇ 第2回委員会兼50周年記念誌編集委員会

日時 11月28日(金) 15:00～16:45

場所 協会 会議室

出席者 石田副会長、根本委員長、大部委員
事務局(小室専務理事、田山)

議事 (1)50周年記念誌の発行及び構成(案)等について
(2)茨協ニュースの今後の発行について
(3)50周年記念誌掲載の写真の選定等について
(4)その他



◇ 50周年記念誌編集委員会

日時 1月23日(金) 15:00～15:56

場所 協会 会議室

出席者 石田副会長、根本委員長、館副委員長、
大部・古市・津田各委員
事務局(小室専務理事、田山)

議事 (1)50周年記念誌の内容等の確認(校正)について
(2)発行までの今後のスケジュールについて
(3)次回委員会の開催について
(4)その他



◇ 第3回委員会兼50周年記念誌編集委員会

日時 2月13日(金) 10:00～11:45

場所 協会 会議室

出席者 石田副会長、根本委員長、大部・古市・
津田各委員
事務局(小室専務理事、田山)

議事 (1)50周年記念誌の編集・再校正等について
(2)「茨協ニュース(第123号)」の発行について
(3)その他



＼私の楽しみ／
はなしの
リレー

未来のプロ野球選手の誕生を願って

株式会社 塚越産業
籾田 武史

福岡県北九州市で生まれ育ち、現在59歳の私の小さな頃の遊びといえば野球一択でした。

残念ながら自分自身は故障にて途中挫折組です。

息子が野球チームに入団し、コーチを頼まれ、いつしか気が付いた時には中学硬式野球チームの監督に就任していました。

現在は、仕事のない土日祝日はほぼグラウンドです。チーム立ち上げ時は冒頭で申しましたとおり、茨城県出身でなく輝かしい実績もなく、そんな私が監督のチームですので、有望な小学生には見向きもされず、何とか試合が出来る程度の人数を確保するのがやっとでした。大学まで野球経験のあるコーチに何名か入団してもらい少しずつ選手は増えていきました。全国大会に出たいと本気で思うようになったころ自分自身の自己改革をおこないました。それは単純に色んな人の力を借りるということです。自チームのコーチに任せると決めたことに対しては、一切口出しせず遠くから見てるようにしました。更にもっと専門的で細分化された知識や技術が欲しい時は、その分野の専門業者に頼むことにしました。結果は日の目を見るより明らかでした。しかしながら、その成果で力がついてきた選手たちがあのコーチ凄い！凄い！と慕われる場面を見てると妬ましく感じたこともあ



ったのも事実です。しかし、故野村監督の有名な言葉で「組織はリーダーの器以上には大きくならない」という言葉がありますが、自身のちっぽけな経験則だけでは発展は望めないので妬ましいマイナスな感情は捨てるようにしています。現在では、専属トレーナー、栄養学の受講、動作解析専門業者、理学療法士による身体可動域測定など自分たちの中学生時代ではおおよそ考えられない環境を選手たちに提供しています。全国大会出場は春夏合わせて6回、うちベスト8進出2回となっております。また卒団生も何名か甲子園出場を果たしており、去年の夏は、日大三高の投手陣の一人として甲子園準優勝を果たしてくれました。甲子園決勝戦のマウンドに教え子が立っている姿を見たときはなんとも言えない気持ちになりました。



チームOBが2025年夏の甲子園に出場

また、全国大会時は、平日にお休みしなくてはならないので申し訳ない気持ちになりますが、理解のある会社のため快く送り出してください。

未来のプロ野球選手誕生のために今週末もグラウンドに立ちたいと思います。

今回は、株式会社全日茨城の村上 純一 様にお話ししたいと思います。

編集後記

2026年スタートしてはや3ヶ月が過ぎました。インフルエンザの流行や花粉症と体調を整えることも大変な中、年度末の超多忙の時期に突入です。皆様くれぐれも体に気をつけてラストスパート頑張りましょう。

日本にはお正月・節分・ひな祭りなど節目を大切にしている文化があります。茨城県ビルメンテナンス協会も令和7年度には創立50周年記念式典をはじめ、たくさんの行事が行われました。盛りだくさんの内容に記憶に残っていないものもあるかもしれません。写真や記事を読んでいただくと、懐かしい光景や感動が蘇ってくるはずですよ。

普段なかなか交流の無い会員の皆様にもどのように交流を持っていただくか。役員・事務局が一体となり試行錯誤している結果を茨協ニュースでお伝えすることは広報委員会にとって幸せなことですよ。

リアルな体験を紙面では難しいですが、是非参加してみたい!!を目指してゆきたいと思います。

協会事業への皆様の参加をお待ちしております。

株式会社 暁恒産 根本 妃美子

全国すべての 事業所・企業が 対象です。



経済センサス

活動調査

調査へのご協力・ご回答よろしくお願いします。

経済センサス-活動調査は、全産業分野の売上(収入)や費用などを網羅的に把握し、我が国の経済構造の実態を全国及び地域別に明らかにすることにより、各種施策に必要な基礎資料を得ることを目的として実施します。



インターネット回答がおすすめです。

<https://www.e-census2026.go.jp/>

検索



 総務省・経済産業省・都道府県・市区町村からのお知らせです。



今号の編集者

副会長	石田 篤史 (株)サンアメニティ 茨城支社)
委員長	根本妃美子 (株)暁恒産)
副委員長	館 由紀夫 (新生ビルテクノ(株) 北関東支店)
委員	大部 浩 (茨城グローブシップ(株))
同	古市 茂樹 (関東ビルサービス(株))
同	津田 尚彦 (シナネンアクシア(株) 茨城支店)

責任者	会長	川上 英則
編集責任者	広報委員長	根本妃美子
発行回数	年3回	
印刷所	有限会社クリエイティブサンエイ	

発行所
茨城県水戸市千波町1918
一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会
TEL 029-305-5111 FAX 029-305-5112
E-mail ibmal@ceres.ocn.ne.jp

<https://www.ibaraki-bma.or.jp/>

今号の表紙

真壁のひなまつり(2026年2月4日～3月3日)
平成15年2月に、町おこしとして始まり、今ではお雛様が100軒以上の民家に飾られ、観光客も約7万人が訪れる。